
サービス接続タイプおよびポート番号

CAD 6.6 で使用されているポートおよび接続タイプの完全なリストについては、『Cisco Unified CCX (IP IVR and IPCC Express) Port Utilization Guide』を参照してください。

レジストリ エントリ

Site Setup

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥Site Setup

表 1. Site Setup レジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
Site Setup	APP VERSION	ストリング	サービス ソフトウェアのバージョンを識別するためにインストール スクリプトが使用します。
	CALLCENTERLANG	ストリング	インストール中に選択される言語です。
	DEPLOYTYPE	ストリング	Unified CM のタイプを定義します。
	INSTALL DIRECTORY	ストリング	シスコ製ソフトウェアで基本となるインストール ディレクトリ。
	INSTALLDIR	ストリング	シスコ製ソフトウェアのベース インストール ディレクトリの親ディレクトリ。
	IOR HOSTNAME	ストリング	コンピュータの NIC のホスト名または IP アドレス。この値は、CAD サービス コンピュータ上だけにあります。
	LDAP Bind DN	ストリング	LDAP サービスにログインするために使用するユーザ ID。デフォルト = cn=Client、ou=People、o=Spanlink Communications。
	LDAP Connection Timeout	DWORD	接続試行がタイムアウトするまでの最大時間 (秒単位)。デフォルト = 15。
	LDAP Heartbeat Enabled	DWORD	ハートビートが有効かどうか。1 = 有効、0 = 無効。デフォルト = 1。
	LDAP Heartbeat Retry Time	DWORD	ハートビート時間 (ミリ秒単位)。デフォルト = 10000。
	LDAP Host 1	ストリング	LDAP サービスのホスト名および IP アドレス。複数の LDAP ホストが使用可能です。
LDAP LCC	ストリング	デフォルトの論理コンタクト センター。	

表 1. Site Setup レジストリ エントリ (続き)

キー	値	タイプ	説明
Site Setup	LDAP Port 1	DWORD	LDAP サービス ポート。複数の LDAP ポートが使用可能です。デフォルト = 38983。
	LDAP Pwd	ストリング	暗号化されたユーザパスワード。
	LDAP Recovery Retry Time	DWORD	復旧再試行時間 (ミリ秒単位)。デフォルト = 3000。
	LDAP Request Timeout	DWORD	LDAP 要求がタイムアウトするまでの最大時間 (秒単位)。デフォルト = 15。
	LDAP Root	ストリング	LDAP データのルート。デフォルト = o=Spanlink Communications。
	MONITOR DEVICE	ストリング	パケットをスニッフするネットワークカード。
	ProductCode_Agent	ストリング	Cisco Agent Desktop の製品コード。
	ProductCode_Supervisor	ストリング	Cisco Supervisor Desktop の製品コード。
	ProductCode_Admin	ストリング	Cisco Desktop Administrator の製品コード。
	Serial Number	DWORD	site setup 値の変更を示すカウンタ。デフォルト = 0。

BIPPA

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥IPPA¥

表 2. BIPPA サービスのレジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
config	TOMCAT HOME	ストリング	Tomcat Web サーバファイルのロケーション。デフォルトは C:¥Program Files¥wfvav¥tomcat_appadmin¥ です。

エンタープライズ サービス

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥Enterprise Server¥

表 3. エンタープライズ サービスのレジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
Setup	Max Wait Time [*]	DWORD	エンタープライズ データを待つ最大時間 (ミリ秒単位)。デフォルトは 100 です。
	Initial Time [*]	DWORD	データが保証されない場合にエンタープライズ データの最初の要求後の待ち時間 (ミリ秒単位)。デフォルトは 10 です。
	Increment [*]	DWORD	データが保証されない場合に各間隔のリトライ時間に加える時間 (ミリ秒単位)。デフォルトは 20 です。
	Retry Sleep Interval [*]	DWORD	コールがエンタープライズに認識されない場合にリトライする間隔の計算に使用される時間 (ミリ秒単位)。この間隔は、(リトライスリープ間隔 - リトライ試行) によって計算されます。デフォルトは 150 です。
config	JavaClassPath	REG_SZ	エージェント電子メール サービスの Java エンジンに必要な jar ファイルを示します。デフォルトは「log4j.jar,SplkStd4J.jar;EEM.jar;activation.jar;mail.jar」です。
	JavaHome	REG_SZ	電子メール サービスの Java エンジン を起動するために使用する Java パーチャル マシンへのパス。デフォルトは「C:¥Program Files¥Java¥jre1.5.0_14」です。
	JavaVMArguments	REG_SZ	Java パーチャル マシンの追加引数。デフォルトは "" (空白文字) です。

* これらのレジストリ キーは、エージェントがエンタープライズ サービスにデータを要求した際、エンタープライズ サービスがまだデータを持っていないというタイミングの問題がある場合だけに、作成する必要があります。

録音再生クライアント

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥Recording & Playback Client¥

表 4. 録音クライアントのレジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
Setup	From Client Port	DWORD	セッションを再生するオーディオ ストリーム「From Agent」を受信するために使用するスーパーバイザのデスクトップのポート。
	Jitter Buffer	DWORD	再生前にバッファリングする音声データの量。デフォルト値 = 1000 ms。一般的なネットワークでは、この設定値を 50 ミリ秒まで小さくすることができます。デフォルトはこれより高く設定されていますが、こうすることでネットワークが輻輳状態でもサウンドが高品質になります。
	Port Range End	DWORD	録音に使用するポート番号の範囲の終端。同時録音にはそれぞれ、2 ポートが必要です。
	Port Range Start	DWORD	録音に使用するポート番号の範囲の始端。同時録音にはそれぞれ、2 ポートが必要です。
	Sound Buffers	DWORD	サウンドカードに送信されたオーディオデータを保持するために使用されるバッファ数。デフォルトは 10 です。サウンド品質が悪い場合、この数を増やすと品質が向上します。
	To Client Port	DWORD	セッションを再生するオーディオ ストリーム「To Agent」を受信するために使用するスーパーバイザのデスクトップのポート。
	VPN Port	DWORD	クライアント アプリケーションが他のクライアントおよびサービスによって使用されるジブル IP アドレスを識別するために使用する VPN アドレス サービスの録音サービスに使用されるポート。録音サービスに対応するエントリを変更しない場合は、このエントリを変更しないでください。

録音と再生サービス

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥Recording & Playback
Server¥

表 5. 録音サービスのレジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
Config	Audio Directory	ストリング	録音したコールのオーディオ ファイルを保持するディレクトリへのフルパス。この値は、デフォルトのディレクトリを使用できない場合にだけ変更してください。
Setup	IOR HostName	ストリング	クライアントに表示されるこのマシンの IP アドレス。クライアント用の接続ストリングを構築するサービスがこれを使用します。
	Maximum Playbacks	DWORD	最大同時再生数。
	Maximum Recordings	DWORD	最大同時録音数。
	OmniOrbUsePort	DWORD	録音サービスがクライアント要求を認識する CORBA ポート。
	VPN Port	DWORD	録音サービスがビジブル IP アドレスのクライアントからの要求を認識するポート。このエントリを変更する場合は、すべてのクライアント アプリケーションの対応するエントリも変更する必要があります。

録音と統計サービス

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥RASCAL Server¥

表 6. 録音と統計サービスのレジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
Config	DB SCRIPT MESSAGE	ストリング	テクニカル サポートがトラブルシューティングに使用するエラーメッセージ。
	DB SCRIPT RESULT	ストリング	録音と統計サービスのセットアップスクリプトの実行後に戻されるブーリアン型の結果。1 : 正常完了。0 : エラー。

VoIP モニタ クライアント

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥VoIP Monitor Client¥

表 7. VoIP IP モニタ クライアントのレジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
Config	FROM AGENT PORT	DWORD	IP エージェントから送信される RTP ストリームの IP ポート。デフォルト値 = 59012。ポートは偶数にする必要があります。次のポートは RTCP ストリームに予約されています。
	JITTER BUFFER	DWORD	再生前にバッファリングする音声データの量。デフォルト値 = 400 ms。一般的なネットワークでは、この設定値を 50 ミリ秒まで小さくすることができます。デフォルトはこれより高く設定されていますが、こうすることでネットワークが輻輳状態でもサウンドが高品質になります。
	SERVER HOST	ストリング	VoIP サービスのホスト名です。
	SOUND BUFFERS	DWORD	サウンドカードのバッファ数。デフォルト = 30、最小値は 3 です。モニタ サウンドに途切れや空白時間が発生したり、モーターポートのような断続的な音になったりする場合は、この値を大きくして品質を改善できます。より高い値に設定すると、サウンドが遅延し、モニタ セッションの冒頭に短時間の空白時間が生じる場合があります。
	TO AGENT PORT	DWORD	Agent IP Phone に送信されている RTP ストリームの IP ポートです。デフォルト値 = 59010。ポートは偶数にする必要があります。次のポートは RTCP ストリームに予約されています。

VoIP モニタ サービス

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥VoIP Monitor Server¥

表 8. VoIP モニタ サービスのレジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
Config	App Version	ストリング	サービス ソフトウェアのバージョンを識別するためにインストール スクリプトが使用します。サービス自体は、このエントリを使用しません。
	Update Version	ストリング	将来の使用：インストールされた任意のホット フィックスを追跡します。
	Monitor Device	ストリング	パケットをスニッフするネットワーク カード。

VoIP モニタ 録音クライアント (任意)

VoIP モニタ API にデフォルト値が組み込まれているため、これらのレジストリ エントリは必要ありません。次のエントリはデフォルトを上書きする場合に使用できます。

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Spanlink¥CAD¥VoIP Monitor Client

表 9. VoIP モニタ クライアントのレジストリ エントリ

キー	値	タイプ	説明
Setup	Recording Jitter Buffer	DWORD	パケット録音が期限切れになるまでの時間 (ミリ秒単位)
	Recording Port Range Start	DWORD	録音用に UDP パケットを受信する開始ポート番号
	Recording Port Range End	DWORD	録音用に UDP パケットを受信する終了ポート番号

